

# 人権を考える



～病気と人権～

私たちは新型コロナウイルス感染症防止対策として、マスクの着用、手洗い、3密の回避、ワクチン接種などに努めています。しかしどんな対策をしても感染してしまうことはあり、感染によるさまざまな人権問題が発生しています。HIV（ヒト免疫不全ウイルス）・肝炎・ハンセン病などでも人権問題がありました。

## どんな人権問題なのでしょうか

「近所で感染者が出たって」「家族も感染しているのでは」など、感染した人の特定をしたり、うわさ話をしたりして、感染者やその家族などに対する差別や偏見、プライバシーを侵害する事案がありました。また、インターネットやSNS上での差別的発言などの報道もありました。未知の感染症の恐怖から、誹謗中傷を受ける事案がありました。

## 他の病気(感染症)について

病気に対する人権問題には、「感染者（HIV・肝炎など）

の人たちの人権」「ハンセン病患者の人たちの人権」があります。これらの病気に対して、「人権の擁護（法務省人権擁護局）」の冊子の中で、次のようにあります。

「HIV」は、性的接触に留意すれば、日常生活で感染する可能性はほとんどありません。仮にHIVに感染したとしても、早期に発見し治療を適切に行うことで、エイズの発症を予防し、感染リスクを大きく低下させることができます。

「肝炎」は、その多くがB型・C型肝炎ウイルスに起因するもので、主に血液や体液を介して感染します。感染を予防するためには、血液や体液が付いた器具を共用しないこと、血液や体液が傷や粘膜に直接触れるのを防ぐことが重要で、普段の生活の中で感染することはありません。

「ハンセン病」は、らい菌に感染することで起こる感染症ですが、らい菌の感染力は弱く、非常に感染しにくい病気です。仮に感染したとしても発病することは極めてまれ

で、治療法も確立しているため、万一発病しても、早期に発見し適切な治療を行えば後遺症が残ることもありません。

## 正しく理解することが大切

私たちは病気の不安を差別や偏見につなげていませんか。問題は、うわさや思い込みが要因として考えられます。その不安をなくすためには、正しい知識や情報をしっかり得て、理解することが大切です。

本市では、「藤岡市感染症患者等の人権の擁護に関する条例」を令和2年12月に制定しました。その条例では、市民・事業者に対して、「人権が尊重された心豊かな地域社会の実現」への協力をお願いしています。コロナ差別もハンセン病などに関する差別も、自分ごととして捉えなくては差別はなくなりません。一人一人が病気について正しい知識を持つとともに、関心と理解を深め、病気に苦しむ患者や感染者などの不安や悩みを理解し、差別や偏見をなくしていくきましょう。



## いのちを守る言葉と行動

福祉課(☎2384)

### あなたも誰かのゲートキーパー

年間、全国では約2万人、県内では350人、本市においても10人前後の尊い命が自殺によって失われています。自殺を考えている人は、多くの場合、何らかのサインを発しています。そのSOSサインにいち早く気付き、支える「命の門番」がゲートキーパーです。相手のことを思う気持ちと少しの心掛けであなたもゲートキーパーになれます。

### ゲートキーパーの4つの役割

①身近な人の変化に「気付く」  
次のような場合はSOSのサインかもしれません。「あなたのことを心配している」という気持ちを伝えましょう  
表情が暗く元気がない▽体調不良や不眠を訴える▽食欲が

ない・痩せた▽飲酒量が増えた▽身だしなみが乱れている▽周囲との交流を避ける

○掛ける言葉「最近、眠れている?」「元気がないけど大丈夫?」「何か力になれることはない?」

②相手の気持ちに寄り添い「傾聴する」  
「悩みを打ち明けたら、相手の話に耳を傾けましょう。相手の気持ちを受け止めて、責めたり、否定したり、励ましたりせず、聴き役に徹することで安心感を与えることができます」

○掛ける言葉「つらかったね」「よく耐えてきたね」「話してくれてありがとう」

○掛ける言葉「頑張るよ」「もっと大変な人はいるよ」「努力が足りない」「あなたにも原因があるので?」  
③適切な相談機関に「つなぐ」

こころの病気や経済的な問題などを抱えている場合、早めに専門機関に相談することが大切です。本人の理解や承諾を得た上で、適切な人や機関につなぎましょう

○掛ける言葉「こんな窓口があるけど、どうかな?」「一緒に相談に行ってみませんか?」

相談窓口 福祉課・藤岡保健福祉事務所(☎21420)・こころの健康センター(☎27・263・1156)

④温かく「見守る」  
元気を取り戻すまでには時間がかかります。相談窓口につないだ後も、いつも見守っていることを伝えましょう。あなたが味方であることは、相手にとって何よりも心強く、孤立させないようにつなぐことができます  
○掛ける言葉「いつでも相談してね」「焦らず自分のペースでいいよ」

## 新型コロナウイルス感染症からあなたと身近な人の命を守りましょう

3つの密を避けましょう ▽換気の悪い密閉空間 ▽多数が集まる密集場所 ▽間近で会話する密接場面  
※手洗い、うがい、咳エチケット、室内の換気、免疫力を高める十分な睡眠や健康管理も重要です

## 6月の休日当番医

診療時間は午前9時～午後6時 歯科医院は午前9時～正午  
※当番医は変更になる場合があります。連絡の上、受診してください

日	医療機関	産婦人科	歯科
5日(日)	篠塚病院 篠塚・☎29261	しろやしき内科 芦田町・☎508320	飯田整形外科医院 篠塚・☎25770
12日(日)	光病院 本郷・☎241234	中田医院 宮本町・☎20385	光病院 本郷・☎241234
19日(日)	鬼石病院 鬼石・☎523121	すぎやまメディカルクリニック 下大塚・☎201666	あいおいクリニック 芦田町・☎248811
26日(日)	くすの木病院 旭町・☎243111	秋山医院 小林・☎28315	前田歯科医院 7丁目・☎20569
			ほりぐち歯科医院 下栗須・☎408566

◎救急テレホンサービス(☎26699) 緊急に対応できる医療機関を24時間案内します